

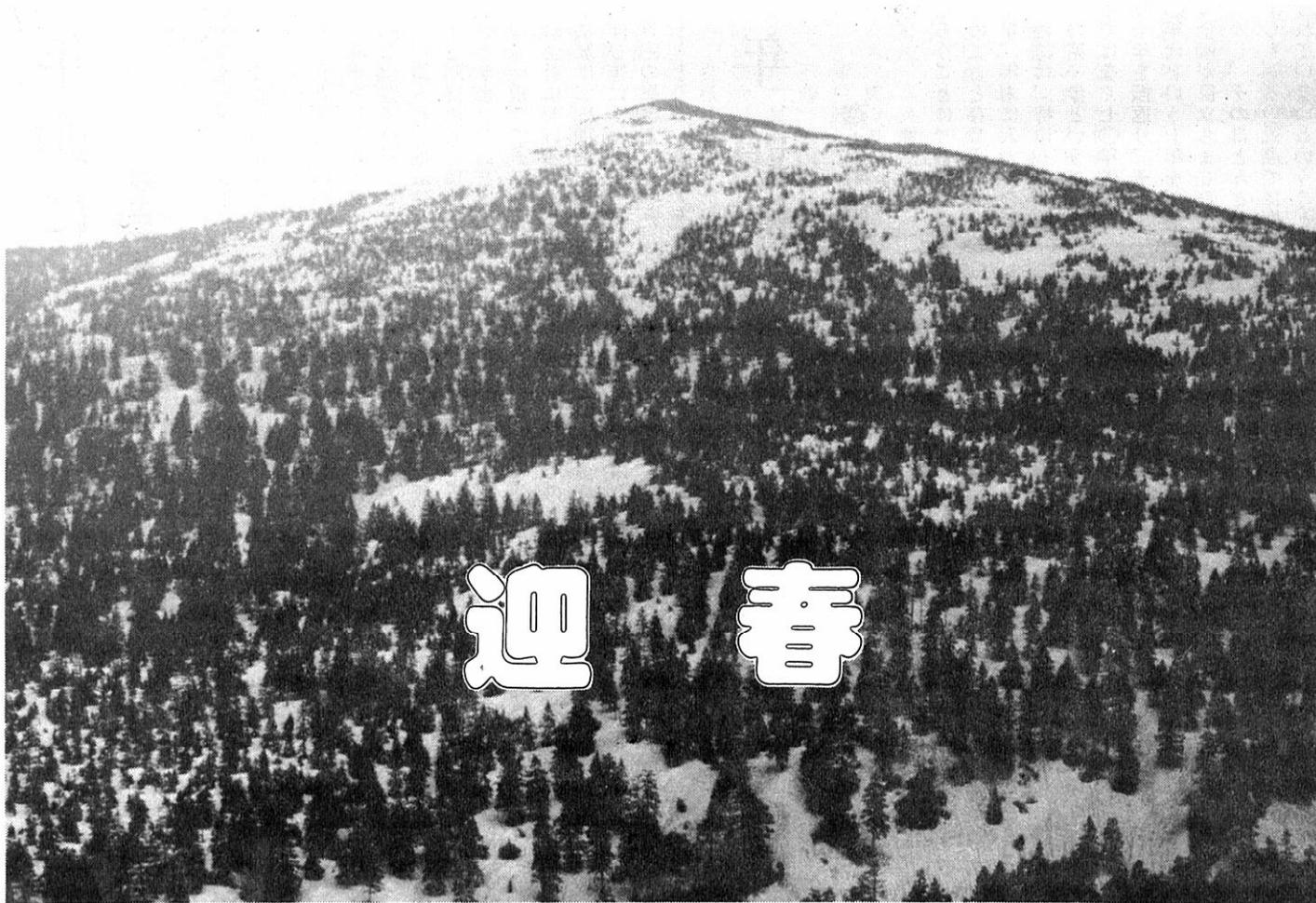


広報 もりよし

発行編集・森吉町役場総務課
印刷所・米内沢中央印刷所

1月号

No.266



迎春

1980年代 明るい町づくりへの展望を……

住民登録人口

昭和54年12月末現在

男	5,275	(+4)
女	5,676	(-14)
計	10,951	(-10)
世帯数	2,757	(-1)

今年^{しんねん}は申年^{しんねん}です。
 さるの三態「見ざる、聞かざる、言わざる」には処世に通ずる逆意もあって、世の動きをよく見わたし、世間の声に耳をかたむけ、熟慮を重ねてすすんで意見を述べるという社会をつくる人の姿勢を示すとか。

町民みんなが、地域社会を担う自覚をもって一九八〇年代の町づくりを展望したいものです。



森吉町消防出初式が、一月四日、あいにくの雨模様の中で挙行されました。前田支所前で団長、町長の観閲をうけた後、前田町民体育館で式典が行なわれました。

森吉町消防団の陣容
 団長 庄司元太郎
 副団長 片岡 広治
 団員総数 一三四名
 消防自動車 六台
 式典で表彰を受けた方々
 ◎知事表彰◎
 ▽有功章 第七分団、九島一雄
 ▽三十五年勤続 第三分団 石崎松雄
 ▽三十年勤続 第一分団、金弥士雄・松橋勝雄
 ▽二十五年勤続 第四分団 庄司勇吉・高橋邦男・若松芳次郎



無火災の決意を新たに

▽二十年勤続 第一分団、九島正三・福田富成・奈良義勝 第二分団、柴田豊吉 奈良芳郎 第三分団、神成佐市 第五分団、高橋一男 森川竹夫・庄司力哉 第六分団、土佐勝男・吉田茂市
 ◎県消防協会会長表彰◎
 ▽功労章 第三分団、鈴木鉄雄・石崎吉蔵 第四分団 庄司勇吉 第六分団、織田竹実・藤島一男 第七分団 九島由之助・九島四郎
 ▽勤続十五年 第一分団、木村喜久治・渡辺勇作 第五分団、佐藤松三郎 第六分団、佐藤金信・土佐勝男
 ▽一〇年精勤章 第一分団 赤石善次郎・赤石光悦 第二分団、金喜一郎・秋元作之助 第三分団、藤本金一郎・鈴木漸・加賀弘・藤本一人 第四分団、庄司林兵衛・庄司鉄雄・伊藤福市・庄司信雄・春日重直・岸野正蔵・庄司忠雄 第五分団 畠山新一・森川富士雄 第六分団、山田武雄・新林作

松橋照蔵さん夫妻

子ども会育成成功券で表彰

松橋照蔵さん夫妻(米内沢御嶽)は、長年にわたって町内子ども会の育成に功績されてまいりましたが、このたび、秋田県子ども会育成連合会の結成三〇周年にあたって、松橋さん夫妻の献身的な活動が認められ当連合会会長より表彰されました。

夫妻には表彰状のほか、メダルと盾が贈られました。松橋照蔵さんは、現在、森吉町子ども会連合会会長。



年頭にあたって

森吉町長 近藤富治郎

新年を迎え、謹んで町民の皆様のご健勝をお慶び申し上げます。

昨年は、引き続き不況に加え、石油事情の悪化、水稲転作割当の消化など多難な年でありましたが、町民の皆様はじめ関係機関、団体などのご指導、ご協力によりまして、中学校プールの完成、ノロ川草地開発事業と家畜市場、牛舎の竣工、公立米内沢総合病院の完成、部落間道路改良舗装など着

年頭所感

森吉町議会議長 三浦富三郎

新年おめでとうございませぬ。

日頃皆様には多大のご協力を頂き、町議会といたしまして、町政各般に対処、努めることが出来ましたが、これを厚くお礼申し上げます。

毎年、年があらたまるごとに激動の年と言われてきましたが、今年には特に石油問題を持出すまでもなく、例年以上のきびしい年になるだろうことは、皆様もご同感のことと存じます。

昨年、年末に入ってから新聞、雑誌は、特に一九八〇年代の第一歩ということ、一年ではなく七〇年代、つまり十年を振り返り、そして八〇年代という十年を展望する企画が目立ちました。

しかし、そのほとんどは必ずしも明るい視点では捉えられていないということ

七〇年代における経済の大変動、そして価値観の多様化等への対応は暗中模索のま、八〇年代に持込まれたのが現実かと思えます。

また「地方の時代」とよく言われてきました。私達もまた、それを理念としてよりも今直ちにという安易な受止め方もあったかと思えますが、それについてもス

ものに、経済情勢や町財政は一段と厳しさを増すことが予想されますので、本年はそのことを念頭に旧公立病院跡地活用計画の具体化をはじめ、米内沢コミュニティセンターの建設計画、新林業構造改善事業や五月に予定されている全県植樹祭の実施、また、その会場となる中学校隣接林への「いこいの森」造成、石坂、大測線の新設拡張をはじめとする道路改良舗装の推進、

森吉山スキー場開設へ向けての調査等に全力を尽す所存でございます。

一九八〇年代は「地方の時代」といわれておりますが、今年には私の任期最終の年でもあり、これまでの諸施策を再点検しながら、職員ともどもその能力を結集して新しい町づくりを展望し、決意も新たに町政の諸課題に取り組み覚悟でございますので、町民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

最後に町民皆様の益々のご健康とご多幸を心からお祈りし、新年のご挨拶と致します。

以上を前提にするまでもなく当然のことですが、「森吉町に何が必要で、何が欠けているか」ということを、あらたな視点で真剣に問い直し、考えることが必要ではないでしょうか。

今年には、そういう年にもしたいものと思えます。

皆さまには、この意義ある新年を迎えまして、ご健康に留意され、いっそうのご多幸を心からお祈り申し上げます。

秋田県内の最低賃金

秋田県内の事業所及び労働者に適用される最低賃金は次のとおりです。すべての事業主はこの最低賃金以上の賃金を支払わなければ労働者を使用することができません。

もし違反した場合は最低賃金法により罰せられますので、必ず守って下さい。

最低賃金について不明の点があるときには、大館労働基準監督署 (TEL 0186-42-4033) または、労働基準局賃金課 (TEL 0188-62-6681) におたずね下さい。

件名 (適用範囲の特例)	最低賃金額	
秋田県最低賃金	1日 2,376円 (1時間 297円)	
産業別最低賃金	食料品製造業	1日 2,662円 (1時間 333円)
	繊維産業	1日 2,547円 (1時間 319円)
	木材・木製品・家具・装飾品製造業	1日 2,780円 (1時間 348円)
	出版・印刷・同業複写 (速記・筆耕を含む)	1日 2,671円 (1時間 334円)
機械・金属製品等 製造業及び自動車 整備業(機械を含む)	1日 2,804円 (1時間 351円)	
御売業・小売業 (飲食店を除く。)	(1) 御売業・小売業 1日 2,804円 (1時間 351円) (2) 小売業 1日 2,625円 (1時間 329円)	

柴田貞吉氏に

自治大臣より感謝状

選挙管理委員永年勤続で

柴田貞吉氏(五味堀)は三十三年間にわたって当町選挙管理委員を勤められ、公正選挙の管理執行に尽力されてきましたが、このたびその職責を全うされたことに対し、自治大臣より感謝状が贈られました。



謹賀新年

本年もよろしくお祝い申し上げます

町長 近藤 富治郎
 助役 安倍 初太郎
 収入役 九島 三郎

森吉町職員一同



なごやかに新年祝賀会

恒例の新年祝賀会が米内沢農協ホールで行なわれ、町長、議会議長、北林県議会議員、斎藤森吉警察署長のあいさつのもと近藤豊治師範、松橋宇吉師範代による舞、碓谷社中のみなさんによる琴の演奏が披露されました。

53年度決算を認定

12月定例議会

一般会計 **8,313万円の黒字**

〈歳入〉 23億3,333万円

〈歳出〉 22億5,020万円

主なもの		残	
地方交付税	9億5,825万円	総務費	3億9,897万円
町債	4億2,350万円	農林水産業費	3億7,714万円
町税	3億0,036万円	土木費	3億4,831万円
県支出金	2億1,974万円	教育費	3億0,004万円
国庫支出金	1億2,015万円	衛生費	2億4,980万円
諸収入	1億1,270万円	民生費	1億9,482万円
その他	1億9,863万円	公債費	1億4,019万円
		その他	1億5,780万円
		残額	8,313万円

ふるさとのいしづみ巡礼 (12)

◎浄福寺開基の碑
(本城浄福寺墓地)
大正八年建立。碑文のうち年号と干支が一致しない部分があるのが気になる。

◎金常吉翁の碑
(本城浄福寺墓地)
昭和三年建立。肩書に当寺開基墓誌発見者と書かれてある。

◎忠魂碑(本城浄福寺境内)
大正九年建立、候爵佐竹義春氏書。倉ノ山産の石で、運搬には本城部落民総出で二日を要したと聞く。調査したうちでは最も大きい碑である。

◎森吉戸武先生の碑
(本城浄福寺境内)
大正六年建立。明治八年に開発された本城学校の先生、子弟が師を慕って建てたもの。

◎米ヶ森忠の碑
(本城浄福寺山門前)

◎力土増位山隆多郎の碑
(阿仁前田陣場岱)
この碑は元治二年の建立であるが「広報もりよし」(昭和五十年二月十五日発行)に庄司卓郎氏が写真とともに詳しく紹介してあるので省略する。

◎忠魂塔(米内沢神社境内)
明治年間の建立と推定が、年号、干支、建立者等不明。

◎明治三十七八年役征露戦捷記念碑(白坂神社入口)
明治年間の建立と推定が、年号が刻まれていない。建立者は畠山勘助氏。

◎朝嵐己之松の碑
(本城浄福寺山門前)
大正九年建立。本城出身の力士。

◎荒江山子之松の碑
(本城浄福寺山門前)
昭和四十九年再建。本城出身の力士。

◎荒江崎丈助の碑
(本城浄福寺山門前)
大正九年建立。本城出身の力士。

次号へ続く
文化財保護審議委員
金 豊助

阿仁川ダム生活相談所 開設のお知らせ

町ではこのたびダム関係地域住民を対象に、ダムに関する先例地の補償関係実態資料の提供や県が提示している生活再建案の説明及び相談等、その他皆様のご意見ご要望に応じるため森吉、前田の二ヶ所に相談所を開設し、相談内容により町、県、建設省の各担当者がご相談に応じますので、

お気軽においでくださるようお願いいたします。
なお、相談日以外にも毎日(休日を除く)前田支所二階へ相談員が一名常駐し皆さんのご相談や連絡にあたりますのでご利用ください。

記
期間 昭和五十五年
一月十日より

開設場所	相談日	時間
森吉保育所二階 (☎6-2033呼)	毎週火曜日 (但し、祝祭日は除く)	午前10時30分 から午後3時30分まで
前田支所二階 (☎5-3221)	毎月3、13、23日 (但し、日曜、祝祭日は除く)	同上

ねんきん

国民年金の現況届は生まれた月の末日までに

国民年金の老齢年金と通算老齢年金を受けている方は、今まで毎年、二月十五日までに現況届を提出していただいておりますが、今年の四月から誕生月の末日に変わります。

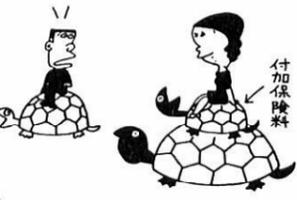
これは、年金を受けている方が急増するにつれて、証明を受ける方が一時期に市町村の窓口が集まり、窓口の混雑をさけるためにとられたものです。今後、年金を受けている方は、誕生月の末日までに提出することになりますので注意してください。

ただし、誕生月が一月から三月までの方は今年に限って三月十五日までに提出していただくことになりました。

なお、現況届の用紙は社会保険庁から誕生月の一カ月前に直接本人へ送付されます。(年金を受けてから一年未満の方は送付されません)送付された用紙に住所と氏名を書いて役場住民係より証明を受け、切手をはって送って下さい。

国民年金の保険料は一人分で月三三〇〇円ですが、隣りの家では毎月三七〇〇円を納めています。これはどういうわけでしょうか。

(答) 国民年金の保険料は定額で、毎月三三〇〇円です。しかし、このほかに毎月四〇〇円の付加保険料というのがあるので、これを合わせると三七〇〇円になるわけです。付加保険料を納めると、納めた期間に二〇〇円を乗じた額が老齢年金に上積みされます。



付加保険料

例えば、十年間この付加保険料を納めた場合、保険料は四八〇〇〇円、年金額は一年間二四〇〇〇円で丁度二年で元がとれることとなります。一ヵ月でも納めるとそれだけ多くの年金がもらえますのでまだ加入していない方は至急年金委員が役場年金係へ連絡して下さい。

愛蔵書一三七冊を恵贈

森川祐輔氏(前田出身)より.....前田公民館へ

このたび、前田八幡森出身の森川祐輔氏(山形県真室川町在住)より、氏が愛蔵してこられた蔵書一三七冊を、郷土の青少年の為に役立ててもらいたいと前田公民館に恵贈されました。前田公民館には現在六九〇冊程の蔵書がありますが、氏から恵贈された書籍を加えますらに広く活用をはかりますので大いにご利用ください。

恵贈された書籍の一部を紹介します。

「炎は流れる(明治と昭和の谷間：一巻〜四巻)」大宅壮一、「セーヌの辺で」森有正、「河のほとりで」石坂洋次郎、「橋のない川

(一、二部)「住井すゑ、若き日の詩人たちの肖像」堀田善衛、「俘虜記」大岡昇平、「されどわれらが日々」柴田翔、「公僕異聞」金達寿、「混沌から創造へ」武田泰淳、「異端のアルチザンたち」興津要、「春のかけら」津村節子、「学、経、年、不問」城山三郎、「地方文人」塚本学、「飛翔の時来た」土屋清、「とぶろくと抵抗」野添憲治

うこと」向坂逸郎、「人間の読み方」石川弘義、「日本人物語」(全五巻)、「革新とは何か」毎日新聞社、「話し方の魔術」片方善治、「自己表現術」芳賀緩、「勉強が好きになる本」林驥、「日本教について」イザヤ

保育所への入所申込みは1月31日までに

新年度の入所児童を募集します。児童福祉法に定められた基準があり、誰でも自由に入所できるものではないので、次の入所基準により申込みください。

定員は米内沢百六十名、前田百名、申込み期間は一月二十一日から一月三十一日までです。申込み用紙は役場、支所、各施設にあり

●入所基準：●
児童の家庭が、次のいずれかの事情にある場合です。ただし、①から⑤までの場合は、その家庭の母親以外の方が児童の保育ができる場合は除かれます。

①母親が家庭外労働②母親が家庭内労働③母親がいない家庭④母親の出産など⑤病人の看護など⑥家庭の災害：(母親の出産、病人の看護など母親以外の保育できる人(祖母など)が、病気で保育できない場合は、医師、助産婦等の証明書を添付してください。

◎塩分のとりすぎは高血圧の原因となります。※七部落一四五人を対象にミネ汁(塩分一%)の試験検査をしました。

と人	17人
いた人	17人
と人	92人
普通人	92人
塩っばいと人	36人
塩っばいと人	36人

つけものの種類	量	塩分含有量g
たたく	2切	0.7
大根	2切	0.6
福み	大きじ1	2.6
紅梅	2切	2.9
なす	小1ケ(10g)	1.0
キュウリ	1ケ	1.4
白	小1ケ	1.7
	1/2本	1.4
	小ざら1人分(50g)	2.3

「甘い」と答えた人に高血圧の人が多かった。

一日の塩分の摂取量は三度の食事で10g以内にとどめましょう。

保健婦だより

◎一月の健康相談は次の部落です。

平田、湯の岱、女木内、鶴田、向本城、川向、駅前、上、下羽立、様田、向様田、惣内、みたけ荘、神成、五味堀、森吉、桐内、桐内沢、米内沢公民館。

1~2杯	53人
3杯	48人
4杯	18人
5杯以上	26人

県では一日二杯までをすすめていますが、検査の結果、ミネ汁を多く飲んでいる人ほど血圧が高かったです。

※つけもののおいしい季節になりましたが、つけものにも多くの塩分が含まれています。食べすぎないようにしましょう。

第1回NHK東北民謡コンクール秋田県大会

- 期 日 昭和55年1月27日(日)
- 会 場 NHK秋田放送局第1スタジオ
- 参加資格 昭和25年3月6日~昭和39年3月4日生まれで秋田県在住のアマチュアの方
性別・職業・学歴は問わない
- 参加費 無料(会場までの交通費は自己負担)
- 参加申し込みの方法 往復ハガキに曲名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ〒010 秋田市山王1-1-2 NHK秋田放送局「民謡コンクール」係あて申し込む
- 予選会 昭和55年1月26日(土)
会場 NHK秋田放送局第1スタジオ
県大会出場者を若干名選出する
- 伴奏 三味線、尺八、太鼓の3名をNHKが委嘱する
- 審査 NHKが委嘱する審査員によって行う。
- 表彰 県代表2名に賞状、賞品を、入賞者若干名に賞状を贈る。
- 放送予定 県大会の模様は、昭和55年2月7日(木)総合テレビ午後7時30分からの「おぼんです」で放送します。

たばこは町内から買います

雪道を安全に走ろう

スノータイヤ・チェーンなどを用意しよう。

道路は除雪されずスノータイヤ、スパイクタイヤ、チェーンを装着すれば通行は可能です。しかし、走行できるからといって安心するのは危険です。スピードを出しすぎたり、急ハンドルや急ブレーキをかけては、スノータイヤやチェーンなどの装着効果も通用しなくなり、スリップ事故のもとになります。スピードはあくまでも控え目にし、車間距離は十分に保ってください。

雪道では、乾いた道路に比べて「スピードは半減」「車間距離は大幅に」を守ってください。

また、道路が凍っている場合は「ブレーキに頼らぬ安全速度で」といわれています。これはハンドル操作で車をコントロールできるくらいのスピードということです。

シートベルトを必ずしよう。

雪道では、いつ、どんなことが起こるかわかりません。シートベルトを締め、不慮の事故から身を守りましょう。

雪道(凍結路)での発進は前輪を真つすぐに、静かな操作で車輪を空転させないように。

歳末たすけあい募金の実績と配分

県共同募金会、NHK、社会福祉協議会等主催の歳末たすけあい募金運動は、婦人会の皆さまが中心となって推進され、おかげさまで次のとおり成果をあげることができました。町民の皆さまの暖いお心

農林業センサスにご協力ください

一九八〇年世界農林業センサスが、二月一日全国一斉に実施されます。この調査は、農林業の実態を的確には握って諸施策を推進するための基礎資料と

なるものです。調査員が農家と林家を対象に調査に伺いますので協力くださいますようよろしくおねがいいたします。

慶弔

十二月



お誕生おめでとう

奥田 吉幸(重吉) 寄延
九嶋 円(新一) 日栄
清水美和子(福二) 五味堀

ご結婚おめでとう

半崎 得夫 東京都
庄司てつ子 浦田
工藤 喜一 神奈川県
細田八代恵 新町
三浦 文則 浦田
北林くみ子 上小阿仁村
田浦 裕隆 神奈川県
米沢美代子 駅前
武石 秋男 根小屋
佐藤たえ子 大淵

ご冥福をお祈りします

近藤 ハナ(61) 七曲
松岡 金平(70) 川向
北林 カツ(67) 新町
高関 ハル(84) 新丁
佐藤 ユキ(73) 桂坂
石川 民男(45) 前田駅前
三浦 ミサ(71) 根森田
齊藤 キン(82) 深渡

善意

米内沢老人クラブ
一、募金総額 八六二、五二九円
うち戸別募金 七三六、六六九円
大口募金 安田パチンコ店 五〇、〇〇〇円
宮越ちえ 三〇、〇〇〇円
森吉町商工青年部 二〇、〇〇〇円
合川電気工事KK 代表 佐藤英治 二〇、〇〇〇円
公立病院准看護婦学校 代表 松橋鉄美

香典がえしとして
川向 松岡 幹生 三〇、〇〇〇円
深渡 齊藤 一美 三〇、〇〇〇円
駅前 鈴木 繁美 二〇、〇〇〇円
向本城 九島 栄治 二〇、〇〇〇円

子どもたちへ

森川電気工事店(新屋布)より、前田保育所の子どもたちへクリスマスプレゼントが送られました。ありがとうございました。

雪道「スピード半減」
「車間距離は大幅に」
凍結路「ブレーキに頼らぬ安全速度で」

づくしと婦人会のご協力に厚くお礼申し上げます。
二、配分状況
保護世帯(四九世帯) 二、三六〇円
一人ぐらし老人、心身障害(児)者(三五世帯) 二、三六〇円
長期療養者(五〇人) 二〇〇、〇〇〇円
施設入所者(五〇人) 二〇〇、〇〇〇円
救らい金(二件) 七、〇〇〇円
拠出金 四〇、〇〇〇円
事務費(社協負担とも) 五九、六九五円

三、五〇〇円
米内沢老人クラブ 二、三六〇円
二、配分状況
保護世帯(四九世帯) 二、三六〇円
一人ぐらし老人、心身障害(児)者(三五世帯) 二、三六〇円
長期療養者(五〇人) 二〇〇、〇〇〇円
施設入所者(五〇人) 二〇〇、〇〇〇円
救らい金(二件) 七、〇〇〇円
拠出金 四〇、〇〇〇円
事務費(社協負担とも) 五九、六九五円

次の方々から社会福祉協議会に善意が届けられました。ご厚意に感謝申し上げます。
新町 北林徳治郎 一〇、〇〇〇円
桂坂 佐藤兼五郎 一〇、〇〇〇円
前田駅前 石川タエ子 一〇、〇〇〇円

二〇、〇〇〇円
新町 北林徳治郎 一〇、〇〇〇円
桂坂 佐藤兼五郎 一〇、〇〇〇円
前田駅前 石川タエ子 一〇、〇〇〇円